



<来週の資金需給予想とイベント予定>

(単位：億円)

日付	資金需給予想			主な要因	オペ期日	オペスタート	イベント
	銀行券要因	財政等要因	資金過不足				
5/15 (月)	+ 1,500	▲ 2,500	▲ 1,000	国庫短期証券 発行・償還 (3M)	CP等買入 ▲ 400 国債補完供給 + 24,400	国債買入 + 13,700	
5/16 (火)	+ 1,000	▲ 25,000	▲ 24,000	国債発行 (5年)		CP等買入 + 3,995	欧：GDP (1Q)
5/17 (水)	+ 1,000	▲ 1,000	トシ				日：GDP (1Q) 米：住宅着工件数 (4月) 欧：CPI (4月)
5/18 (木)	+ 2,000	▲ 15,000	▲ 13,000	国債発行 (20年)			米：新規失業保険申請件数 (5月13日終了週) 米：フィラデルフィア連銀製造業景況指数 (5月)
5/19 (金)	▲ 2,000	+ 1,000	▲ 1,000				日：全国CPI (4月)

<インターバンク>

日銀当座預金残高は、週初8日は税・保険揚げなどを主因に、前営業日対比▲4兆200億円の546兆8,000億円から始まった。

その後は国債発行などを要因として減少し、週末となる12日には543兆9,300億円 (速報) となった。

無担保コールON物は週を通して堅調な地合となった。同加重平均金利は週初、▲0.073%から始まったものの、その後は調達意欲の高まりから上昇基調を辿り、週末3日積みとなる12日には▲0.030% (速報) となった。

ターム物は1~2W物を中心に▲0.075%~▲0.020%程度の広い水準で出が見られた。

来週の予定は、国内では、17日にGDP (1Q)、19日に全国CPI (4月) などがあり、海外では16日にユーロ圏GDP (1Q) 17日にユーロ圏CPI (4月) などがある。

[無担保コールレート]

	予想レンジ (%)
O/N	▲0.087 ~ 0.001
1M	▲0.020 ~ 0.020
2M	0.010 ~ 0.050
3M	0.000 ~ 0.130
6M	0.000 ~ 0.150

<レポ>

足許GCは、大型連休を跨ぐ1日の取引で▲0.18%近辺の出合い、短期3mの入札があった2日の取引は入札後▲0.100%近辺まで上昇した。以降は▲0.100%~▲0.09%の狭いレンジで取引され、積み最終日受渡しとなる12日の取引では、▲0.08%台の出合いも見られた。

SC取引は2年438~447回債、5年149~157回債、10年350~370回債、20年180~184回債、30年65~78回債、40年13~15回債などに引合いが多く見られた。

[オープン市場]

	予想レンジ (%)
現先 (on/1w)	▲0.050 ~ 0.000
CP 3M	0.000 ~ 0.01

<CP>

今週の入札発行総額は約5,700億円で、週間償還額 (約8,100億円) を下回った。発行市場は、一部で大型の発行が見られたものの、週を通して案件は少なく落ち着いたマーケットであった。発行残高は先週末時点の24兆6,693億円から11日時点で24兆1,253億円に減少した。発行レートは、0%から小幅なプラス圏での出合いが中心であった。11日にCP等買入オペが予定通り4,000億円でオフアされた。結果は、按分レート▲0.028% (前回0.003%)、平均落札レート0.014% (前回0.015%) と按分レート・平均落札レート共に前回比で低下した。

来週の償還額は、約5,400億円となっている。発行市場は賞与や税払い等の資金手当てから、相応の発行が見込まれる。発行レートは、0%近辺での出合いが中心となることを予想する。

<TDB>

9日の6M (1155回債) の入札は、最高落札利回り▲0.1526% (前回債▲0.1454%)、平均落札利回り▲0.1684% (前回債▲0.1574%) となった。12日の3M (1156回債) の入札は、最高落札利回り▲0.1663% (前回債▲0.1563%)、平均落札利回り▲0.1756% (前回債▲0.1663%) となった。

来週は18日に1Y、19日に3Mの入札が予定されている。